



東京都北区 生活環境部 環境課

令和4年度 第2回区政モニター会議

北区環境基本計画2023について

環境活動を広げていくために、
効果的な普及啓発の方法とは

地球温暖化対策に関する啓発パンフレットを考えてみよう

● 北区環境基本計画 2023 について

地球温暖化による異常気象の頻発や食糧生産への影響、資源の枯渇、ごみの最終処分場の不足、海洋プラスチックなどの問題、生物多様性のバランスの崩壊、外来生物の増加、みどりの減少、大気汚染や水質汚濁、ごみのポイ捨て.....

私たちが暮らす北区は、身近な問題から地球規模の問題まで、さまざまな環境の課題に直面しています。

このような課題に対応するため、北区では
「北区環境基本計画 2023」
という北区の環境や自然を守り、推進していくための
方針をまとめました。

- この計画では「一人ひとりが環境を考え、ともに行動するまち ～持続可能な環境共創都市の実現～」を目標として、その実現に向け、様々な活動内容を定めています。

● 北区環境基本計画 2023 について

- 近年の環境問題をめぐる変化は大きく、以下に示す社会情勢の変化に対応する計画としました。

- ・ カーボンニュートラル（低炭素化から脱炭素化へ）
- ・ 気候変動への適応（環境変化による影響に備えること）
- ・ 資源循環（使い捨てプラスチック、食品ロス）の問題

目標とする環境像:一人ひとりが環境を考え、ともに行動するまち ～持続可能な環境共創都市の実現～		
基本目標	基本施策	区の実施
基本目標 1 気候変動に適応し、 脱炭素を実現するまち	(1) 脱炭素社会に向けた緩和策の推進 【北区地球温暖化対策地域推進計画】	① 省エネルギーの推進 ② 再生可能エネルギーの利用促進 ③ 脱炭素型まちづくりの推進
	(2) 気候変動適応策の推進 【北区気候変動適応計画】	① 自然災害対策の推進 ② 健康被害対策の推進 ③ 区民生活への影響対策の推進
基本目標 2 安全・安心で、 快適に暮らせるまち	(3) 安全・安心な生活環境の確保	① 環境汚染対策の推進 ② 身近な環境問題に関する取組みの推進 ③ 災害に強く、住み続けられるまちづくりの推進
	(4) 快適なまちづくりの推進	① まちの美化 ② 良好な景観形成の推進
基本目標 3 資源循環の輪を つなげるまち	(5) 資源循環型システムの推進	① ごみの減量化の推進 ② 資源の有効利用の推進 ③ 持続可能な消費行動への転換に向けた普及、啓発
	(6) ごみの適正処理の推進	① 収集運搬体制の充実 ② 安定的な処理体制の維持
基本目標 4 身近な自然を守り 育て、活用するまち	(7) 豊かで質の高い緑・水辺の保全	① 良好な環境を形成する緑の保全 ② 生物多様性の保全と回復 ③ 水辺環境・水循環の保全
	(8) 身近な緑の創出と活用によるまちづくり	① 公園・緑地の整備・維持管理 ② まちなかの緑化推進 ③ 区民とともにある緑の活用
基本目標 5 環境活動の大切さと 楽しさを分かち合い、 未来へ共創するまち	(9) 環境に配慮した行動の実践	① 環境負荷の少ないライフスタイル・ワークスタイルへの転換 ② 環境経営の推進
	(10) 環境教育・環境学習の推進	① 学校における環境教育の充実 ② 地域における環境学習機会の拡充
	(11) パートナーシップによる環境活動の推進	① パートナーシップによる環境保全活動の充実 ② 環境に関する情報発信の充実



北区環境基本計画 2023 (案)
全体版



北区環境基本計画 2023 (案)
概要版

● 北区環境基本計画 2023 について

● 脱炭素の取組みが進展しないと...

将来予測まとめ



21世紀末の日本は、20世紀末と比べ...

※ 黄色は2℃上昇シナリオ (RCP2.6)、
紫色は4℃上昇シナリオ (RCP8.5) による予測

年平均気温が約1.4℃/約4.5℃上昇

海面水温が約1.14℃/約3.58℃上昇



猛暑日や熱帯夜はますます増加し、
冬日は減少する。



温まりやすい陸地に近いことや暖流の影響で、
予測される上昇量は世界平均よりも大きい。

降雪・積雪は減少

雪ではなく雨が降る。
ただし大雪のリスクが
低下するとは限らない。



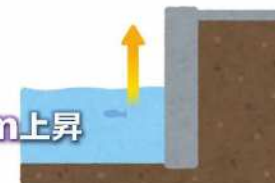
激しい雨が増える

日降水量の年最大値は
約12% (約15 mm) / 約27% (約33 mm) 増加
50 mm/h以上の雨の頻度は 約1.6倍/約2.3倍に増加



強い台風の割合が増加
台風に伴う雨と風は強まる

沿岸の海面水位が
約0.39 m/約0.71 m上昇



3月のオホーツク海海氷面積は
約28%/約70%減少



【参考】4℃上昇シナリオ (RCP8.5) では、
21世紀半ばには夏季に北極海の海氷が
ほとんど融解すると予測されている。

日本南方や沖縄周辺においても
世界平均と同程度の速度で
海洋酸性化が進行



※ この資料において「将来予測」は、特段の説明がない限り、日本全国について、21世紀末時点の予測を20世紀末又は現在と比較したもの。

13

資料：日本の気候変動2020（文部科学省 気象庁）

● 北区環境基本計画 2023 について

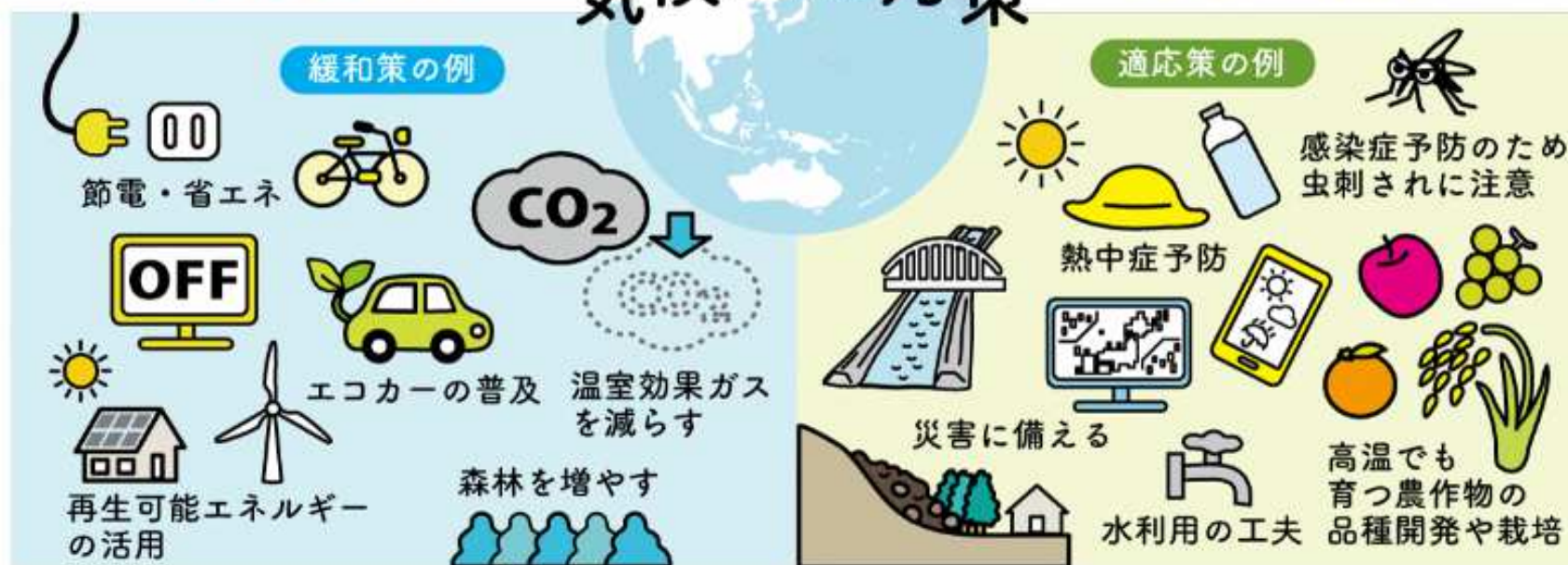
緩和とは？

原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える



気候変動による人間社会や自然への影響を回避するためには、温室効果ガスの排出を削減し、気候変動を極力抑制すること（緩和）が重要です。

緩和を最大限実施しても避けられない気候変動の影響に対しては、その被害を軽減し、よりよい生活ができるようにしていくこと（適応）が重要です。

● 北区環境基本計画 2023 について

● カーボンニュートラル、気候変動への適応の動き

■ パリ協定

- 地球温暖化による気候変動に対応するため、2015 年 パリにて行われた COP21 で「パリ協定」が合意され、2020年より本格運用開始。
- パリ協定の目的：『**今世紀末までに、平均気温上昇を産業革命前から 2℃より十分低く保ち、また、1.5℃以下に抑える努力を追求する**』



- 2018年にIPCC（気候変動とその対策に関する科学的な知見を提供している世界的な組織）が、**「現在の度合いで増加し続けると2030年から2052年までの間に気温上昇が1.5℃に達する可能性が高い」**とする知見を提示



- 2021年には「今世紀半ば頃には実質ゼロにすること」を目指すグラスゴー気候合意を採択するなど、**世界各国で、2050年カーボンニュートラルに向けた動きが加速。**

● 北区環境基本計画 2023 について

● カーボンニュートラル、気候変動への適応の動き

■ 2050年カーボンニュートラル宣言

- 2020年10月に内閣総理大臣が、『**2050年カーボンニュートラル（実質排出量ゼロ）**、**脱炭素社会の実現を目指す**』ことを宣言し、2021年4月に、**野心的な2030年度の目標として、『2013年度比で46%削減、更に50%の高みに向けて挑戦する**』ことを表明。
 - 地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）の改正
 - 地球温暖化対策計画の改定
 - エネルギー基本計画の改定
 - 気候変動適応計画の改定 など



- 北区では2021年6月に、2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、「**北区ゼロカーボンシティ宣言**」を表明

● 北区環境基本計画 2023 について

分野：脱炭素、気候変動への適応

基本目標 1

気候変動に適応し、脱炭素を実現するまち (⇒本編 P.36～)

【北区地球温暖化対策地域推進計画】

【北区気候変動適応計画】

基本施策 (1) 脱炭素社会に向けた緩和策の推進

【北区地球温暖化対策地域推進計画】

(⇒本編 P.38～)

区 の 取 組 み	① 省エネルギーの推進 ・家庭の省エネルギー促進 ・事業所の省エネルギー促進 ・建築物の省エネルギー促進	② 再生可能エネルギーの利用促進 ・再生可能エネルギー設備の導入 ・再生可能エネルギー電力の導入	③ 脱炭素型まちづくりの推進 ・スマートコミュニティの推進 ・移動における脱炭素化の促進 ・ごみの発生抑制・3Rの推進 ・区外における二酸化炭素吸収量の増加への貢献
重 点 施 策	★「COOL CHOICE」チャレンジ事業 ★「省エネ道場」事業の拡充 ★省エネルギー機器等導入助成制度の拡充	★「(仮称) 北区役所ゼロカーボン実行計画」の推進 ★再生可能エネルギー機器等導入助成制度の拡充 ★ZEH・ZEB化の推進 ★再生可能エネルギー由来電力の利用促進	★再開発や公共施設の更新などまちづくりの機会を捉えたスマートコミュニティの検討 ★自治体連携による森林整備の取組み

● 北区環境基本計画 2023 について

区内の温室効果ガス排出削減目標

令和 12（2030）年度までに平成 25（2013）年度比で 50%削減

区内のエネルギー消費量削減目標

令和 12（2030）年度までに平成 25（2013）年度比で 18%削減

区内の再生可能エネルギー導入目標

令和 12（2030）年度までに太陽光発電の設備容量（累計）を 28,059 kWまで増加

基本施策（2） 気候変動適応策の推進 【北区気候変動適応計画】（⇒本編 P.57～）

区 の 取 組 み	① 自然災害対策の推進 ◇災害に備える施設整備・まちづくり ◇災害に備える体制強化 ◇風水害・土砂災害に関する情報発信・意識啓発	② 健康被害対策の推進 ◇熱中症予防の啓発 ◇暑熱対策となる設備等の整備 ◇感染症対策の推進	③ 区民生活への影響対策の推進 ◇ヒートアイランド対策の推進 ◇インフラ・ライフラインへの影響・対策の推進
重 点 施 策	★災害時の安定的なエネルギー確保・公共施設の機能継続 ★マイ・タイムラインの普及啓発	★熱中症弱者に対する普及啓発・見守り	★民間開発・公共施設における暑熱対策の推進

● 北区環境基本計画 2023 について

分野：資源循環

基本目標 3 資源循環の輪をつなげるまち (⇒本編 P.74～)

基本施策（5） 資源循環型システムの推進 (⇒本編 P.75～)

区 の 取 組 み	① ごみの減量化の推進 ◇家庭におけるごみの発生抑制 ◇事業所におけるごみの発生抑制 ◇食品ロス削減に向けた取組み	② 資源の有効利用の推進 ◇家庭における資源循環 ◇事業所における資源循環	③ 持続可能な消費行動への転換に向けた普及、啓発 ◇サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行推進
重 点 施 策	★ワンウェイプラスチックの削減	★プラスチックの資源化推進	★静脈産業の活性化 ★緑のリサイクル事業の促進

● 本日の討議テーマ

- 北区の環境をより良いものにしていくためには、北区だけでなく、区民や事業者の協力が不可欠

議論のポイント

環境活動について無関心層の興味をどう引き付けるか



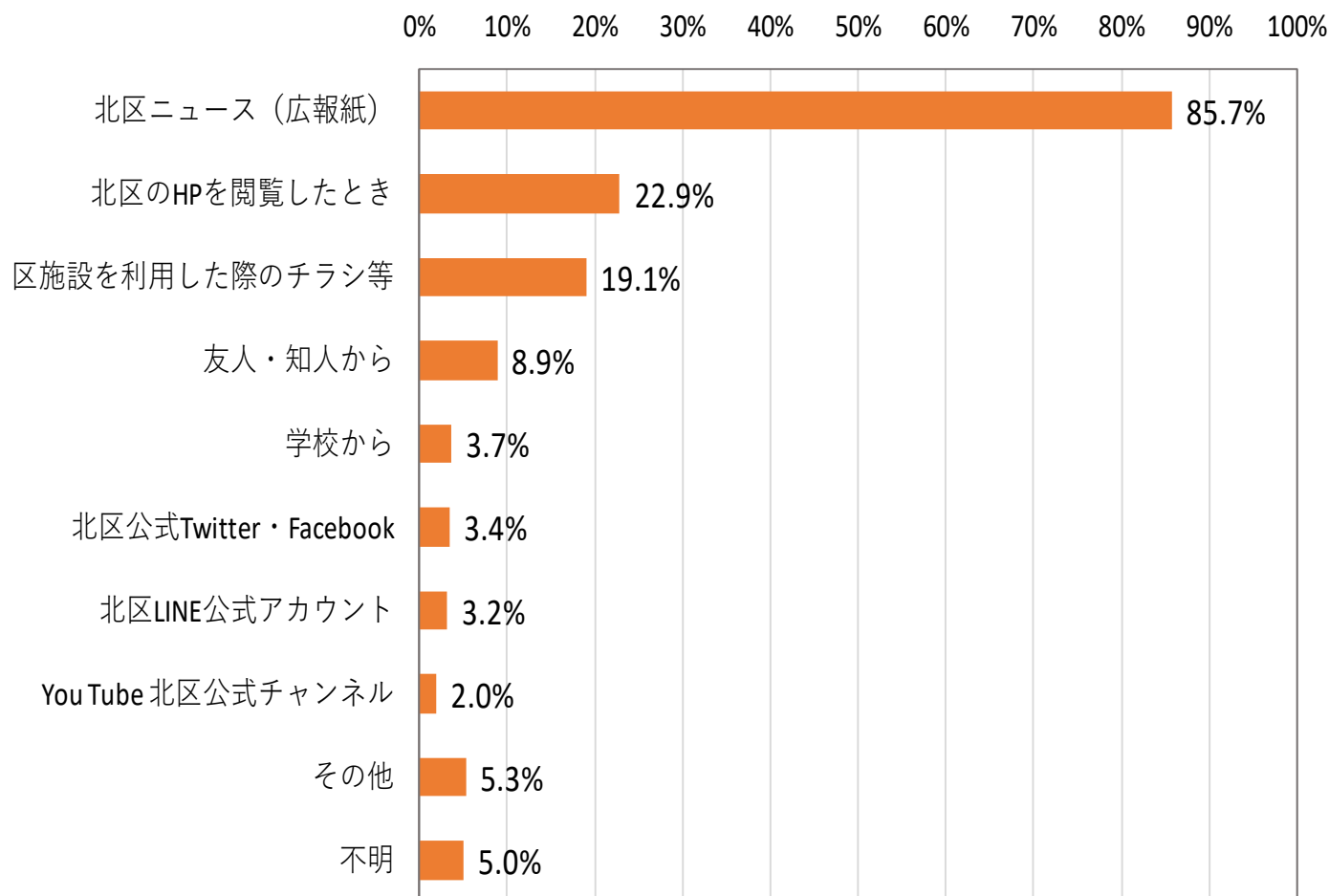
- これまでも環境活動に関する情報発信を実施しているが、興味がなければ、情報は取得してくれない。



- 意図しなくても環境活動に関する情報にふれさせるための工夫が必要
 - 媒体の特性を活用した情報発信（北区ニュース、チラシ、SNSなどの工夫）
 - 伝える情報の内容（興味を引きつけるキーワード、コンテンツ（記事）、簡単そう、活動の目的は違うがついでに環境向上にも貢献できる など）

● 本日の討議テーマ

■ 区環境情報の入手先（北区の環境に関する意識・意向調査 R3より）



● 本日の討議テーマ

本日のグループ意見交換

地球温暖化対策に関する啓発パンフレットを考えてみよう

- 手に取ってみたいくなるパンフレットの構成案を考えてください。
- 本日の意見交換をもとに、実際に事務局でパンフレットを作成予定です。

● パンフレットの仕様

- ・ 配布ターゲット：子育て世代の区民
- ・ 配布場所：公共施設、スーパーの袋詰め台、
診療所待合室など
- ・ A4カラー両面 1 枚

● 本日の討議テーマ

意見交換にあたって

興味を引きつけるタイトル

全体のデザイン、カラーなど

記事・図表・
イラスト

記事・図表・
イラスト

記事・図表・イラスト

- 北区環境基本計画2023の概要版ではなく、計画に記載されている「区民に期待される行動」の紹介パンフレットとします。
- 行動全てを紹介するパンフレットにする必要はありません。
- 文章や図表などについては、「こんな内容を記載したい」というレベルでかまいません。
- まずは、何を伝えたいのかを議論してください。

● 本日の討議テーマ

参考：食品ロス削減のパンフレット（消費者庁）

食品ロスを減らしましょう

あなたも1日でお茶碗 約1杯分の食べものを無駄にしているかも？！



つながってます

令和元年10月1日「食品ロスの削減の推進に関する法律」施行

本法は、食品ロスの削減に関し、国、地方公共団体等の責務等を明らかにするとともに、基本方針の策定その他食品ロスの削減に関する施策の基本となる事項を定めること等により、食品ロスの削減を総合的に推進することを目的としています。

日本では、本来食べられるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」が年間600万トン以上発生しています。毎日、(大型10トン)トラック約1,760台分の食品を廃棄している計算です。

消費者庁では、食品ロスを減らすための様々な情報を発信しています。詳しくは、消費者庁ウェブサイトをご覧ください。

食品関連事業者も、過剰在庫や返品等によって発生する食品ロスの削減に向けて動き出しています。消費者の皆様も、食品ロスの削減に向けてご協力をお願いします。

消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

食べ600のムダなくするプロジェクト

食品ロスについて知ろう

食品ロスとは？

食べられるのに捨てられている食品ロスのこと。
日本では、年間600万トン以上の食品ロスが発生しています。食品ロスの中には、手付かずの状態で捨てられている食品もあり、この状況を多くの方に知っていただくことが大切です。



捨てられた手付かずの食品例 一宮市提供

食品ロスの約半分は家庭から

日本の食品ロス量 年間600万トン超のうち、約300万トンは家庭から発生しています。
日本人一人当たりで換算すると、年間約50kg、毎日お茶碗約1杯分(約140g)の食べものを捨てている計算になります。食品ロス削減のためには、家庭での取組が重要です。

捨てられやすい食材

- 1位 主食(ごはん、パン、麺類)
- 2位 野菜
- 3位 おかず

捨てやすい理由

- 1位 食べきれなかった
- 2位 傷ませてしまった
- 3位 賞味・消費期限が切れていた

※食品ロス削減推進に関する調査結果(令和元年)より

食品ロスを減らす行動をしてみよう

食品の期限表示を正しく理解する

食品の期限表示は、「消費期限」と「賞味期限」の2種類があります。いずれも開封していない状態で、表示されている保存方法で保存した場合の期限が表示されています。
消費期限は、「食べても安全な期限」、賞味期限は、「おいしく食べることができる期限」です。
賞味期限は、過ぎてみてもすぐに廃棄せずに自分で食べられるかどうかを判断することも大切です。

消費期限と賞味期限のイメージ



消費期限は、賞味期限よりも短い。賞味期限は、消費期限よりも長い。消費期限は、賞味期限よりも短い。賞味期限は、消費期限よりも長い。

食品ロス削減に効果的な方法

ご家庭からの食品ロスを計量し、記録するだけでも驚きが得られます。また、以下の取組も有効です。

まずは一週間、記録してみましょう。記録シートはこちら。

- 使いきれ的分だけ買う。
- 家にある食材・食品をチェックする。
- 肉や魚の保存方法を工夫する。

※食品ロス削減推進に関する調査結果(令和元年)より

調理で作りすぎない 余ったら作り替える

もし、食べきれなかった場合は、他の料理に作り替えるなど、献立や調理方法を工夫しましょう。詳しくはQRコードへ

料理レシピサイト「クックパッド」内の「消費者庁のキッチン(公式ページ)」



令和元年10月1日施行

令和4年度 第2回区政モニター会議

●本日のスケジュール

1 開会あいさつ	10分程度
2 討議テーマについて	90分程度
(1) 資料説明 ・ 北区環境基本計画2023の概要 ・ 本日の討議テーマ	20分程度
①自己紹介・意見交換・グループ作業	50分程度
②各グループの意見発表	20分程度
3 閉会あいさつ	5分程度

● 皆さんにお願いしたいこと

- 参加者全員が対等な立場にあり、**自由な発言を行うことを尊重**しましょう。
- 各参加者の発言を尊重し、**はじめから否定したり、話を遮るような発言をしないよう配慮**しましょう。
- 各参加者ができるだけ多く発言できるよう、**発言時間が長くないよう配慮**しましょう。